



題字／福田博子 編集・発行／入間市環境まちづくり会議 2022年3月31日発行

ウイルスとSDGs

会長 木内 勝司

新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が蔓延し、全国では10万人を超えるなど、連日どこかの都道府県で過去の最高数を超える新增感染者が出ています。一時は新規感染者が激減し、ほとんどのも束の間、あれよあれよという間に第6波に巻き込まれました。

さて、そもそもウイルスとは何かといった疑問もあります。ウイルスは自らの設計図「ゲノム」（全遺伝子情報）とそれを包むタンパク質です。ウイルスのほうが長期間存在するといわれています。

人とのウイルスの戦いの痕跡は、私たちのゲノムに残っています。人間を含むあらゆる生物はウイルスとともに進化し、共存しているとも言えます。

共存といえば、生物、生態系と地球環境はその典型です。SDGsについてマスクコミュニケーションで取り組んでいます。最近はSDGsも盛んに取り上げ、学校、企業、行政でも様々な形で取り組まれています。こうした多様な生物、生態系、それをとりまく地球環境は切って切り離せず、今後も私たちはSDGsとうまく付き合っていかなければなりません。宿主を殺さず、宿主と共に生存するウイルスのほうが長期間存在するといわれています。

事業報告

今年度も新型コロナウイルスの影響で、環境フェアや環境ウォーキングなど会員や市民の皆さんと直接顔を合わせて活動する大きなイベントは中止となりました。

●第21回総会	5月書面開催：書面表決の結果①令和2年度事業報告、②同収支決算報告、③正副会長選任案、④令和3年度事業計画案、⑤同収支予算案の5つの議案全てが賛成多数で可決されました。
●運営委員会	12月16日 会議内容「会報の作成について」 3月22日 会議内容「総会について」
●ごみひろい隊	12月19日 豊岡コース
●環境市民講座	7月29日 宮寺公民館 講師：吉田 優勝氏 テーマ「不老川の魚と生き物たち」(詳細は4ページ) 11月18日 久保稻荷公民館、11月29日 東町公民館 講師：増岡 伸一氏 テーマ「身近な環境から学ぶ自然界の仕組み」(詳細は4ページ) 12月10日 東金子公民館、12月15日 藤沢公民館 講師：川名 千鶴子氏 テーマ「環境にやさしいコーヒーの楽しみ方」

環境市民講座

不老川の魚と生き物たち

採取したメダカ

生き物採取を行う参加者

7月29日に宮寺公民館にて開催された「不老川の魚と生き物たち」は屋外体験型の講座。座学で注意点を学んでから河川敷に移動し、タモ網による水生物の採捕を行いました。この講座の目的は水辺の自然観察を通じて郷土愛を深めてもらうことです。かつては日本一汚いと言われた不老川。しかし今回の教室ではメダカ、沼エビ、アメリカザリガニなどが採取され、観察出来ました。河川に愛着を持ち、きれいにすること、ゴミを減らして海洋環境を良くすることに繋がっているのです。

（吉田 優勝 記）

11月18日・29日に久保稻荷公民館・東町公民館では「身近な環境から学ぶ自然界の仕組み」副題（狭山茶の自然栽培茶園とその周囲の自然環境）と題して、入間市内の景観とともに身近な茶園を取り上げて日常の生活からな内容で講座を開催しました。自然に興味を持つよう

（増岡 伸一 氏）

11月18日・29日に久保稻荷公民館・東町公民館では「身近な環境から学ぶ自然界の仕組み」副題（狭山茶の自然栽培茶園とその周囲の自然環境）と題して、入間市内の景観とともに身近な茶園を取り上げて日常の生活からな内容で講座を開催しました。自然に興味を持つよう

（増岡 伸一 氏）

（吉田 優勝 記）

有機茶園を見学中の来園者

エコライフDAY活動

実施しています

ごみひろい隊活動

毎月第3日曜日

詳しくは、ホームページの「ごみひろい隊」をご覧ください

7月～9月 及び 12月～2月

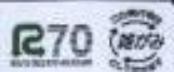
入間市環境まちづくり会議

会員数393 (八团体)

入間市環境まちづくり会議
事務局 入間市役所環境経済部環境課

TEL 04-2964-1111(代表) 内線 4221 または 4222
FAX 04-2965-0232
URL <http://www.kankyo-iruma.net/>

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境にやさしい行動宣言

は、

みなさんが自ら行っている、環境に配慮した行動を改めて宣言することです。環境に対する意識をより高める効果や入間市環境基本計画とのつながりを実感したり、仲間と達成感を共有することができます。

● 環境にやさしい行動メニュー

- ① 農地や平地林の保全に努めます。
- ② 環境にやさしい農産物の生産や購入に努めます。
- ③ 農薬や化学肥料、除草剤の使用を減らします。
- ④ 低公害車の導入を積極的に進めます。
- ⑤ 車の使用を極力控え、バスや電車を利用します。
- ⑥ アイドリングストップを実践します。
- ⑦ 環境負荷の少ない製品の製造や販売に努めます。
- ⑧ 使わないときは主電源を切り、節電や省エネに努めます。
- ⑨ 節水や雨水利用に努め、水を大切にします。
- ⑩ 宣伝用チラシは再生紙を使用します。
- ⑪ 環境に配慮した商品の品揃えに努めます。
- ⑫ 商品の簡易包装に努めます。
- ⑬ レジ袋やブックカバーを断ります。
- ⑭ マイバッグ(買い物袋)を持つ習慣をつけます。
- ⑮ なるべく工コマークのついた商品を購入します。
- ⑯ 空き缶やたばこのポイ捨ては絶対にしません。
- ⑰ ルールを守りごみの分別を徹底します。
- ⑱ ごみ減量・リサイクル活動などに積極的に参加します。
- ⑲ 廃棄物の排出抑制や適正処理に努めます。
- ⑳ 有害化学物質による汚染を防止します。
- ㉑ 駆音や振動、悪臭の防止に努めます。
- ㉒ 安全な建材の使用に努めます。
- ㉓ 生活や事業活動から生じる排水を適正に処理します。
- ㉔ 丘陵地や河川沿いの緑を大切にします。
- ㉕ 草花を育て、地域や職場などの緑化に努めます。
- ㉖ 情報メディアを利用して環境の大切さを伝えます。
- ㉗ その他(項目にない宣言でも結構です)

環境にやさしい行動宣言をしよう

わたしの行動宣言

こうした時だからこそ、自身の暮らしぶりを省みる

「口ナ禪(下)での生活も三年目に入り、「マスク・手洗い・密を避ける」暮らしが当たり前の日常になつて久しいですね。この間、仕事や会議はリモート、イベントやお祭りは軒並み中止、会食や外出も自粛。配慮したエコライフを送っているのか、自身の暮らしぶりを省みるのも良いかも知れません。

その際に指針を与えてくれるのが「環境にやさしい行動宣言」です。

環境まちづくり会議の入会申込み書に記載されているので、会員の皆さんには一度は目にしたことがあるかと思います。脱炭素をはじめとする温暖化対策、「みの分別と減量(①)

(新井 格記)

捨てるのがもったいない時はハンドメイド

私は、環境にやさしい行動メニュー(①番、「レジ袋やブックカバーを断ります」)を行っています。レジ袋が有料になる前からマイバッグを利用しています。そのきっかけは、京都土産にとても素敵なバラ柄の風呂敷を頂いたことです。その風呂敷はちりめんで「しわ」になりにくく、収縮性があり、使い勝手がよく、長く愛用しています。ブックカバーは不要なので断り

うに選んでいますか?

「美味しいから」、「安いから」、「新鮮だから」ののような理由の他に、その栽培方法について考えてみましょう。「誰が、どのように生産しているか」特に、輸入された物、例えば「コーヒー」や「カカオ豆」は生産者が

絵本の中の環境

私は市立図書館で「読み聞かせボランティア」に参加し、子供達に繪本を読んでいます。繪本の中にも環境を扱ったものが多くあります。その中の「一冊『どんぐりかいぎ』を紹介します。

森の中のお話です。秋になると、どんぐりの木は実を沢山落とします。それを動物達が食べ、食べ残しました。それが翌年に芽を出し、子供の木に育ちます。こうして自然の循環はうまくっていました。ところがある

(森谷 秀一 記)

安価な製品には、隠れた理由がある

購入する食べ物や飲み物をどのようになります。子供たちが労働力として使われたり、収入を確保するために、焼き畑や森林伐採が行われていたり、生産国の状況を改善しなければならないことがあります。

ですが、ハンドメイドすると、素敵なカバーに生まれ変わります。皆さんもお試しあれ。

(川名 千鶴子 記)

①、レジ袋からマイバッグへ(②)、節電・省エネ(③)、身近な自然環境の保全(①・②)など近年メディアを賑わせているコンセプトが

発足当時から大切にされていることを改めて確認させてくれます。

一九七二年にローマクラブが「成長の限界」で「環境汚染などの現在の傾向が続けば一〇〇年以内に地球は成長の限界に達する」と警告してから半世紀、環境問題は人類を取り組まなければならぬ最優先課題といえる状況にあります。「緑豊かな文化都市」入間の市民として、さらに宇田船地区等の乗組員として、この言葉内容を改めて確認・言語・実行してゆきたいものです。

(新井 格記)

3